

文教厚生委員会視察研修報告

○日 時 平成 29 年 6 月 28 日 (水) ~ 6 月 30 日 (金)

○研修先 ・ 大阪府 茨木市 【学力向上の取り組みについて】

・ 島根県 雲南市 【特色ある教育施策について】

【子ども家庭支援センターについて】

・ 山口県 宇部市 【公立中学校への部活動外部指導について】

文教厚生委員会では「教育環境の整備について」をテーマとし、調査・研究を進めている。今回の研修は、最終的に市へ提言するために先進事例の視察を実施した。

○大阪府 茨木市 「学力向上の取り組みについて」

行政と学校の連携など計画的に 3 カ年単位のステップアップによる取り組みにより、全国平均を下回っていた学力が、全国トップクラスの水準に達している。総合的な人間形成を目指すため「ゆめ力、自分力、繋がり力、学力、体力」に重点を置いた取り組みを実施し、低学力層の底上げをしたことによるものである。支援教育サポーターや専門支援員、図書館支援員などの人的サポートは大変有効な支援であると思われる。行政と学校の連携、地域との連携、幼保小中連携の先進的な事例である。

○島根県雲南市 「特色ある教育施策について」

「子ども家庭支援センターについて」

人口は牧之原市より少なく人口減少も大きい。この状況の中、全ての子ども達が自らの人生を豊かにするよう「生き抜く力」を持つことを主眼に教育の基本とし、将来に向け子どもをどう育てるか、その教育が市の未来を明るいものとするため、キャリア教育、コミュニティ・スクール導入、子ども家庭支援センターとして障がいのある子の一貫した支援体制など積極的に推進している。

コミュニティ・スクール導入により、学校、家庭、地域が連携・協働できる仕組みを構築して、地域でのどのような子どもを育てていくか、学校運営に保護者・地域・N P Oなどが参画し、共有の目標に向かい協働していく事業を推進している。

子ども家庭支援センター「すワン」は、障がいを持つ子どもの早期からの一貫した支援体制が構築されていた。保・幼から小・中へのスムーズな移行支援計画により、子どもの成長を図っている。

○山口県宇部市 「部活動の外部指導者募集について」

現在における教員の勤務実態や部活動の専門性の必要性から、部活指導員による補完体制が、教員OBや各種の専門性を持つ市民による外部指導者による部活動が実施されている。

今回の研修は子ども教育に力点を置いた。幼保小中高の連携と行政との連携、学校・家庭・地域が連携・協働による取組みによる成果を出している実態を知ることができた。また教育の在り方により、人口減少の歯止めも期待でき、牧之原市の子ども教育の在り方の方向性を定める大変重要な参考になる研修であった。

この研修成果を牧之原市の子ども教育に生かすよう、政策提言に向け取り組んでいく。

